

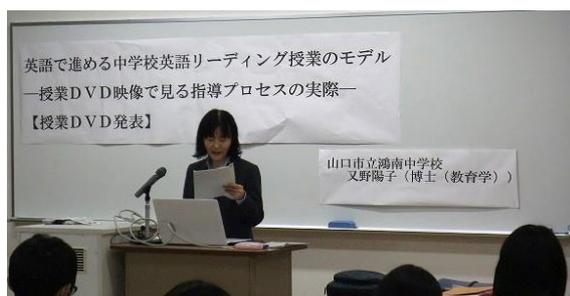
広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	英語で進める中学校英語リーディング授業のモデル：授業DVD映像で見る指導プロセスの実際【授業DVD発表】
Author(s)	又野, 陽子
Citation	全国英語教育研究大会紀要, 66 : 54 - 63
Issue Date	2017-03
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053203
Right	This is not the published version. Please cite only the published version. この論文は出版社版ではありません。引用の際には出版社版をご確認、ご利用ください。
Relation	



[中学校の部 第13分科会]



テーマ 英語で進める中学校英語リーディング授業のモデル—授業DVD映像で見る指導プロセスの実際—【授業DVD発表】

発表者 山口市立鴻南中学校
又野 陽子
指導助言者 山口大学 高橋 俊章
司会者 山口大学 高橋 俊章
記録者 長門市立深川中学校
熊丸 浩康
会場責任者 山口大学教育学部附属光中学校
高津 宗司
参加者 94名

1 研究の目的

文部科学省が平成25年12月に公表した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」において、中学校においては、身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養うとして、授業を英語で行うことを基本とすることが掲げられた。こうした動きの中で、「聞くこと」「話すこと」を中心としたペアワークやインタビュー活動をタスクとして設定した授業や読後の感想の発表会形式の授業提案は多く見受けられるのに対し、長文を読み取るプロセスに焦点を

当てた提案は多いとはいえない。また、授業で取り入れることができる個別の指導技術は多々紹介されているものの、リーディングの指導プロセス全体の枠組（流れ）の中で個々の指導技術や方法を整理したり関連づけてたりすることも必要な作業であると思われる。そこで、こうした現状に照らし合わせて、本研究では以下の4つを研究目的として設定した。

- (1) 先行研究に基づいたリーディング指導の基本的な流れや項目の整理
- (2) 生徒の読みを導き、英語で進める授業を可能にするリーディング・タスクの研究開発
- (3) 授業DVDにより読み物教材の導入からまとめまでを提示し、指導手順や教室英語の参考資料として示すこと
- (4) 英語で進めるリーディング授業における生徒の取組や授業アンケートの分析

2 研究の内容

転換期にある英語教育の動きや現状を概観し、先行研究に基づいて、リーディング指導の基本的な流れや項目を整理した。具体的には、リーディング指導全体の枠組の中で個々の指導技術や方法を整理し、関連を図示した（Appendix 1 参照）。そして、そうした指導手順の枠組の参考資料の一つとして、教科書本文のリーディング指導に焦点をあてた授業DVDを作成し、DVD Contentsとしてその概要を整理した（Appendix 3 参照。指導案については Appendix 2 を参照）。DVD映像は、教室英語の実際や視覚教具、

板書の工夫、導入からアウトプット活動までの流れ、生徒のアクティブな学び合いの姿を具体的に示すために提示した。英語で進める授業という観点から、そうした視覚教具やワークシート、教師の提示する英語等は複数の ALT とのディスカッションとネイティブ・チェックを経たものを使用している。視聴の観点としては、(1)教師の教室英語を理解可能なインプットにするための工夫としての **MERRIER Approach**、(2)4 技能統合（インプットからアウトプットにつながる授業）、(3)しるしをつけながら読むといったコンプリヘンション・アプローチの手法を用いたリーディング・タスクの3点を設定した。また、ワークシート及び作品から生徒の学びをとらえるとともにアンケート結果も分析した。

3 成果と課題

本研究の成果としては、まず、先行研究に基づきリーディング指導の基本的な流れや項目を整理し、DVD 映像によりその指導プロセスの実際を参考資料の一つとして示したことが挙げられる。その中で、英語で進めるリーディング指導を支える教室英語やリーディング・タスクについても具体的に提示した（リーディング・タスクの一例については **Appendix 4** を参照）。リーディング・タスクは生徒の主体的な参加を促し、生徒の理解を可視化できるもの、そして読み取った内容の確認を英語で行うことを可能にするものを作成した。アンケート結果からは、プレゼンテーションや友達との相互の学び

合いを通して得られた達成感や自信、英語の長文に対する興味や自律的な学習へのつながり等、肯定的なとらえ方が顕著であった。生徒にとって有益で満足感が得られる授業となったことが伝わってきた (**Appendix 5**)。今後の課題としては、本授業から得られたデータを基にして、さらに詳細に質的・量的分析を継続していきたい。また、本授業は教科書本文のリーディング指導を取り上げたものであり、オーラル・イントロダクション（インタラクション）による導入がなされたが、読解前の他の活動としてスキミングやスキッピング、サンプリングで効率よく情報を抽出する場合や、継続した速読指導による熟達訓練やディコーディングの自動化の促進を図る指導についても、今回と同様に具体的な提案ができればと考えている。

4 質疑応答の概要

質問者：間美和（新潟県新潟市立亀田西中学校）、片山信吾（愛媛県松山市立南第二中学校）、佐藤正秀（新潟県長岡市立南南中学校）、岡田三枝（岡山県倉敷市立倉敷第一中学校）、関口智（東京都江戸川区立清新第一中学校）

質問内容：リーディング・スキル、リーディング・タスク、スローラーナーへの対応、アンケート結果等

応答：テキストを読んでポイントや情報を読み取っていくこと (**Fact Finding**) にとどまらず、テキストの要点をとらえたり (**Generalization**)、自己関連性 (**Personal Involvement**) の視点を持ち

ながらテキスト内容を考えたりすることが大切である。今回の授業ではオーラル・インタラクションにより生徒をテキストの読みに導いていったが、生徒にとってのテキストの難易度により、初見の文章でも生徒自身が概要を素早く読み取っていくような直読直解の力をつけていく授業展開も考えられる。しるしをつけながら読むといったコンプリヘンション・アプローチの手法を用いたリーディング・タスクは、テキストの中から答えの部分を見つけ出すという作業であるため、生徒にとって取り組みやすく、個々の生徒の間で作業の時間的な大差も生じることなく完成することができるものであった。さらに、今回のリーディング・タスクは、教材が初見ではない生徒（通塾生徒等）にとっても、改めて英文処理を必要とするため、授業の中で「読解する」活動として設定できるものである。それと同時に、発話することに対して負荷が高いと感じている生徒にとっても答えが見つかりやすく、教師の英語による内容確認に対して生徒が英語で答えていく授業を可能にすると思われる。読み取った内容を全体で確認する前にペアによる確認の場を設けたり、プレゼンテーションをペア、グループ、全体と段階を踏んで行っていく様子も今回提示した。口頭作業を十分に行った後で、書いてまとめる学習を行うが、テキストどおり書写する場合もあるが、プレゼンテーション実施後は、プレゼンテーションを再現するような形で自分と聴衆の発話をまとめるように促すこともできる。

5 分科会アンケートより

「リーディングの授業を英語で進めるための手順がとてもわかりやすく提示されていた。中学1年生でも、またスローラーでも理解しやすく集中して取り組めるための支援がたくさんあり、とても参考になる」

「理論の説明にとどまらず、又野先生が実際に授業内で実践をされている様子を見ることができてたいへん勉強になった」

「話すことの実践は多く見られるがリーディング授業の実践事例はなかなかないのでたいへん参考になった。新出語句の英語での導入方法もよくわかった」

「リーディングに関するこのような研究発表を初めて聞いたのでとても興味深かった。いろいろな手法を学ぶことができ、明日からの授業で早速使ってみたいと感じた。DVDのおかげで、実際の場面がよくわかった。ここまでの素晴らしい研究ありがとうございました」

「リーディングの具体的な指導方法を見ることができてとても勉強になった。特に印象に残っているのは生徒が英語を読む場面を多く設定していることである。フラッシュカードや写真、ワードカード等を提示することで生徒が読みやすくなる環境の工夫をされていた。また Q & A 等のワークシートも生徒が取り組みやすいものに作られていて、自分の授業に取り入れたいと思った」

「今回の発表を聞いて、生徒に英語で本文を説明してみようと思った」

「教師の導入から生徒のプレゼンテーシ

ョンまで一貫性があるということがとても参考になった。指導の流れの一貫性がとても伝わってきた」

「生徒のフラッシュカードでの発声、発音がともに良く、見習いたいと思った。

生徒の反応もほとんどが英語で驚いた」

「ただ読解するだけでなく、その内容の深い部分を読み込ませる手法に驚いた」

「非常にテンポよく多くの活動が行われていることに驚いた。今後参考にしたい」

「アンケート結果の質的分析に関して、生徒に英語学習、英語のテキストを読むことの重要性を実感させたことは大きいと思う。生徒同士のインタラクションが有効であることを再認識させられた。

“That’s right.” “Yes, it is.” などの相づちをうっただけでもモチベーションが上がることにも驚きだった」

「教師と生徒であれだけやり取りが行われるリーディング活動が可能なのだとたいへん衝撃を受けた。また、教師だけでなく、生徒もたいへん生き生きと英語を使用していることに感動した。今後大いに参考にさせていただきたいと思う」

「リーディングのさまざまな方法が提示され、これからの指導にすぐ取り入れられそうだと感じた。生徒に英語で理解させていく方法を学べてたいへん助かった」

「リーディング指導の実際を、すべてのプロセスで見せていただいたので参考になった。アンケート結果の分析も踏まえられていて、すばらしかった」

「DVD と説明を通した内容や手順の提示で、次の活動への意味、目的が理解できた。とてもすばらしいリーディング指

導の内容だった。たいへん勉強になった」

「リーディングの授業の型として、参考にしたいと思う」

「又野先生が、生徒の発言のたびに“Good!” などほめる言葉をかけ、生徒を励ましているところがとても印象的だった。発言する自信になると感じた」

「学習規律がよく保たれている。日頃の安定した授業への取組の顕れでしょう」

「生徒が本当に楽しそうで英語をたくさん使っているので、卒業時にはどれだけの力がついているか興味があるところである。また、授業の雰囲気もたいへん和やかだったので、授業規律や日頃の学級経営もしっかりされているのだと思った」

「生徒達の反応の言葉や行動に、英語の学習を楽しんでいる様子がよく表れている。学年末のこの単元だけでなく、素晴らしい指導を1年間積み重ねてこられたことが伝わってくる」

6 指導助言

DVD の映像、それから内容の解説等含めて、短い時間に非常に多くの内容が凝縮されており、非常にわかりやすく充実した内容であった。今回の研究発表は意義深いものであり、参加した他の先生方もそのように考えておられると思う。私達が耳を傾けなければならない一番大切なものは生徒の声である。又野先生がこれまで取り組んできたこと（生徒達への指導の内容、本日の発表の内容）が自信を持ってよい内容であることは、何より生徒自身がアンケートで「良かった」と答えていることからわかる。

Appendix 1

英語で行う教室内英語リーディング指導の枠組
(A Schematic Framework of Classroom Reading Instruction in English)

教科書本文のリーディング指導 (速読指導の基礎となる能力の育成)

未知の語彙や構文を含むものとして提示
学習によって語彙知識や統語知識が増加→テキストのレベルの向上
テキストの意味理解に焦点をあてる
通常の読みの流暢さの向上
初見の生徒/初見ではない生徒 (通塾生等) が教室内に混在

継続した速読指導 (多読)

未知の語彙や構文ができるだけ少ない親しみの持てるものを選択
i-3 → i-2 → i-1 (Day and Bamford, 1998)
熟達訓練 (fluency building) に基づく指導
ディコーディングの自動化の促進
学習者にとって初見の未知の短い英文

文法項目の事前指導 (The PRESENT—PRACTICE—USE Cycle) → 文法知識の自動化

Greetings

Warm-up & Review

- Phonics (*Phonics Builders*)
- Chants
- Oral drill

Pre-reading activities

- Previewing the text
- Oral introduction → Check of understanding または Oral interaction (→ Acoustic image)
(■ Listening and speaking for reading)
新出語 (句) の導入 → Repetition (必要に応じて SPS (simultaneous phonic spelling) 法も使用)
[MERRIER Approach] [黒板に Concept map の提示をイメージ (キーワード、視覚補助)]
- Signpost questions (TF/Multiple choice/Reading points (Q & A)) の提示
- Paragraph questions の提示
(• Survey [Skimming] [Sampling] [Scanning] [聞きながら読む]) ←

Intra-reading activities

- Model reading I (音から文字への橋渡し) [聞きながら読む] [定規あて読み]
- Silent reading (Task reading (Active reading)) [指差し読み/定規あて読み]
Answering the signpost/text-inserted questions (reading guide)
[必要に応じて] Comprehension Approach の手法
Information transfer (文字情報→他媒体)
Graphic organizer (Read and complete, Read and label)/ Read and draw
Sequencing tasks
Problem-solving task (Linking activity → Read and correct/Read and match)

Post-reading activities

- Reading to speaking
- Oral reading (recording)
フラッシュカードの使用
Model reading II (標準的には3回、黙読と音読の橋渡し) [聞きながら読む] [定規あて読み]
① Intensive choral reading of each sentence after the teacher (必要に応じて backward build-up technique を使用) ② Choral reading through the whole text after the teacher ③ Buzz reading ④ Individual reading ⑤ Choral reading through the whole text ⑥ Read and look up ⑦ Sight translation (First In First Out) (in pairs)
- Story retelling (Presentation) (in pairs → in groups → in front of the class) (Information transfer (Concept map → 英文))
- Discussion (My favorite sentence/ Opinion of the whole story)
- Communicative activity using the text
- Speaking to writing
- Copying (教科書の参照)
- Writing the dialogue used in the presentation (Concept map の参照)
- Summary writing (Concept map の参照、テキストのマクロ構造レベルに関わる情報統合)

単語認知及びフレーズ認知の自動化を図る活動

- (Sweeping their eyes (左から右へ) / 時間制限)
- Word recognition exercise
- Phrase recognition exercise

読解速度を数値的に高める指導

- (黙読/Sweeping their eyes (左から右へ) / チャンクごとの意味を統合する処理 (必要に応じて Slash reading))
- Fixed length
Paced reading の体感
↓
Timed reading (読解速度計測読み) と成果のモニター
読解速度 (wpm) と読解効率 (wpm × 正答率 (%))
- Fixed rate
Add-a-page drill (Anderson, 1986)

目的に応じた読みの結果として読解速度が速くなることを意識させる指導

- (基礎的なディコーディングが完成した段階では Pre-reading activities から導入されることが可能)
- Part O のタイトルやトピックの選択 / 繰り返して出てきた単語や記憶に残った単語/話の展開の予想
- [Skimming] [Sampling] [聞きながら読む]
- 中心的内容に関わる語句や数字の拾い出し
[Scanning] [聞きながら読む]

↑
SQ3R technique (SQW3R), PRTR technique, PQRST technique

TEACHING PLAN

Instructor: Yoko Matano, Ph.D.

Date: March, 2015

Class: 1-3, 1-4, 1-5, Hirakawa Junior High School (My former school)

Material: Let's Read Over the Horizon (*NEW HORIZON English Course 1*, pp.116-117, Tokyo Shoseki, 2012)

Aims of this lesson:

- 1) To have the students understand and think about the message in "The Earth is One."
- 2) To have the students read and understand the story's development.
- 3) To have the students imagine each paragraph's image through the pictures and the text.
- 4) To have the students answer the questions about the story.
- 5) To have the students present their impression of the story and discuss it with their friends.

Allotment and Procedure

1st Greetings

Warm-up (Chants)

p.116 Oral interaction

Checking the new words and phrases on the blackboard

Reading task (Sheet 1[1])

Q & A (Checking the answers in pairs, T→S (volunteers), T→Ss)

Thinking about the main idea of this passage (Sheet 1 [2])

New words (Flash cards)

Reading aloud (Model reading/Choral reading/Buzz reading/Individual reading/Read and look up)

2nd Greetings

Review (p.116 Oral interaction)

p.117 Oral interaction

Checking the new words and phrases on the blackboard

Reading task (Sheet 2[1])

Q & A (Checking the answers in pairs, T→S (volunteers), T→Ss)

Thinking about the main idea of this passage (Sheet 2[2])

Thinking about alternative titles for this story (Sheet 2[3])

Writing down one favorite sentence and the reason (Sheet 2[4])

Writing down opinion of the whole story (Sheet 2 [5])

New words (Flash cards)

Reading aloud (Model reading/Choral reading/Buzz reading/Individual reading/Read and look up)

3rd Story retelling (Presentation)

Following the teacher (Sheet 3-1 (Blackboard layout), Sheet 3-1)

Practicing the presentation in pairs (Sheet 3-1 (Blackboard layout), Sheet 3-2)

Practicing the presentation in groups (Sheet 3-1 ((Blackboard layout), Sheet 3-2)

Presentation in front of the class

Presenting the whole story to the class

4th Discussion

My favorite sentence

Opinion of the whole story

Writing

Drawing

5th Review (Game)

Overall evaluation

Appendix 3

A Model of Classroom Reading Instruction in English (A Demonstration Lesson)
DVD Contents (Procedure)

Instructor: Yoko Matano, Ph.D.

Greetings

Warm-up-----Preparatory Stage

Pre-reading Activities-----Previewing Stage

- 1.Oral Interaction (Part 1)
 - 2.Oral Interaction (From Review of Part 1 Through Part 2)
- New Word Check

Intra reading Activities-----Comprehension Stage

- Silent Reading (Task Reading) with a Reading Guide [Fact Finding]
Answer Sharing (S-S)
Answer Check (T-S)
Integration of Understanding
Main Idea [Generalization]
Alternative Titles [Generalization]
My Favorite Sentence [Personal Involvement]
Opinion of the Whole Story [Personal Involvement]

Post-reading Activities-----Production Stage

- New Words (Flashcards)
Oral Reading
Story Retelling (Presentation)
Following the Teacher
Practice in Pairs
Practice in Groups→Presentation in front of the Class
Presenting the Whole Story to the Class
Discussion
My Favorite Sentence
Opinion of the Whole Story
Writing
Drawing
Review (Game)

Overall Evaluation-----Evaluation Stage

Closing Remarks

p.116 Over the Horizon

class()no.()name()

[1] Each section has some questions, so read the sections and answer them. When you are finished, put a check mark (✓) next to the questions.

I'm standing on the moon. It's cold and quiet here. I see so many stars all around.

- (a)) Where's the girl standing? Underline the answer. (three words)
上の英文の中で、少女が立っている場所 (3語) にアンダーラインをひきましょう。
- (b)) How is it on the moon? Double underline the answer. (three words)
月の上はどのような感じですか。答えの部分 (3語) に二重線をひきましょう。
- (c)) What can the girl see from there? Circle the answer. (three words)
少女は月から何が見えますか。答えの部分 (3語) を○で囲みましょう。

That's Orion. That's the Big Dipper. I don't know the names of all the stars, but every star has its own name, I think.

- (d)) What are the names of the two groups of stars? Draw stars on top of the answers. (two words)
星座や星群の名前 (2つ) の上に☆印をつけましょう。
- (e)) What does the girl think every star has? Draw a box around the answer. (three words)
少女は、どの星にも何があると考えていますか。答えの部分 (3語) を□で囲みましょう。

Oh, that's the Earth. It's shining over the horizon just like a ball. It's blue and white. How beautiful!

- (f)) Where's the Earth shining? Underline the answer. (three words)
地球はどこに輝いていますか。答えの部分 (3語) にアンダーラインをひきましょう。
- (g)) What's the Earth like? Double underline the answer. (two words)
地球は何のようですか。答えの部分 (2語) に二重線をひきましょう。
- (h)) What color is the Earth? Double underline the answer. (three words)
地球は何色ですか。答えの部分 (3語) に二重線をひきましょう。

[2] What's the main idea of the story on p.116?

p.116 に書いてある内容の要点をまとめると次のうちどれになるでしょう。

- (A) It's cold and quiet on the moon.
(B) Orion and the Big Dipper are beautiful.
(C) The girl doesn't know the names of all the stars.
(D) The girl can see many stars and the shining Earth from the moon.

Appendix 5

今度また機会があったらもう少し長い文章に挑戦したいです。
また、さかなのゲームによって、「horizon」や「own」などの
お話に出きた単語をひり返ることができました。
また、日本語でも宇宙から見た地球の話は読んだことがないのに、
それが英語だったからさらに魅力的でした。

バに残った活動は、プレゼンテーションです。

なぜならよく練習していたからです。Over the Horizon
を読んで、もっと地球のことを考えようと思いました。理由は、
物語の中に“Let's take care of the Earth.”や
“It's our only home.”とあり、感動したからです。

Over the Horizon がすごく好きになったので

これからも読んでいきたいです。

I love Over the Horizon!

発表の前日には、ぼくは3時間音読しました。

みんなの前で発表することは、とても緊張したけれど、
人の前で、声の大きさなどが調節できたと思います。

がんばって発表できたのでよかったです。

また、英語の授業のおかげでうたん話したことがない人も

話す機会が増えました。よかったです。

1年間ありがとうございました。

長い文章を見ながら読むのは簡単だけど、
何も文章を見ないで行うプレゼンテーションは、
英語への道の第一歩を進めたのではないかと
思いました。

今では、「自分にもできた!」と感じ、
自分が成長できたことが身にしみました。
2年生になっても、英語を愛し続けて
いきたいと思いました。

英語で進める中学校英語リーディング授業のモデル

—授業 DVD 映像で見る指導プロセスの実際— 【授業 DVD 発表】

発表者：山口市立鴻南中学校 又野 陽子
助言者：山口大学 高橋 俊章

1 研究の目的

グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方として、中学校においても授業を英語で行うことを基本とすることが掲げられた。こうした動きの中で、「聞くこと」「話すこと」を中心としたペアワークや読後の感想の発表会形式の授業提案は多く見受けられるのに対し、長文を読み取るプロセスに焦点を当てた提案は多いとはいえない。また、授業で取り入れることができる個別の指導技術は多々紹介されているものの、リーディングの指導プロセス全体の枠組（流れ）の中で個々の指導技術や方法を整理したり関連づけたりすることも必要な作業であると思われる。そこで、こうした現状に照らし合わせて、本研究では以下の4つを研究目的として設定した。(1)先行研究に基づいたリーディング指導の基本的な流れや項目の整理(2)生徒の読みを導き、英語で進める授業を可能にするリーディング・タスクの研究開発(3)授業 DVD により読み物教材の導入からまとめまでを提示し、指導手順や教室英語の参考資料として示すこと(4)英語で進めるリーディング授業における生徒の取組や授業アンケートの分析。

2 研究の内容

転換期にある英語教育の動きや現状を概観し、先行研究に基づいて、リーディング指導の基本的な流れや項目を整理した。具体的には、教科書本文のリーディング指導と継続した速読指導双方の流れを取り上げ、全体の枠組の中で個々の指導技術や方法を整理し、関連を図示した。そして、そうした指導手順の枠組の参考資料の一つとして、教科書本文のリーディング指導に焦点をあてた授業 DVD を作成し、DVD Contents としてその概要を整理した (Greetings, Warm-up [Preparatory Stage], Pre-reading Activities [Previewing Stage], Intra-reading Activities [Comprehension Stage], Post-reading Activities [Production Stage], Overall Evaluation [Evaluation Stage], Closing Remarks)。DVD 映像は、教室英語の実際や視覚教具、板書の工夫、導入からアウトプット活動までの流れ、生徒のアクティブな学び合いの姿を具体的に示すために提示し、視聴の観点としては、(1)教師の教室英語を理解可能なインプットにするための工夫としての MERRIER Approach(2)4 技能統合 (インプットからアウトプットにつながる授業) (3)しるしをつけながら読むといったコンプリヘンション・アプローチの手法を用いたリーディング・タスクの3点を設定した。また、ワークシート及び作品から生徒の学びを捉えるとともにアンケート結果も分析した。

3 成果と課題

本研究の成果としては、まず、先行研究に基づきリーディング指導の基本的な流れや項目を整理し、DVD 映像によりその指導プロセスの実際を参考資料の一つとして示したことが挙げられる。その中で、英語で進めるリーディング指導を支える教室英語やリーディング・タスクについても具体的に提示した。リーディング・タスクは生徒の主体的な参加を促し、生徒の理解を可視化できるもの、そして読み取った内容の確認を英語で行うことを可能にするものを作成した。アンケート結果からは、プレゼンテーションや友達との相互の学び合いを通して得られた達成感や自信、英語の長文に対する興味や自律的な学習へのつながり等、肯定的なとらえ方が傾向として見出された。生徒にとって有益で満足感が得られる授業となったことが伝わってきた。今後の課題としては、本授業から得られたデータを基にして、さらに詳細に量的分析を継続していきたい。また、本授業は教科書本文のリーディング指導を取り上げたものであり、オーラル・イントロダクション (インタラクション) による導入がなされたが、読解前の活動として Survey を行う場合や、継続した速読指導による熟達訓練やディコーディングの自動化の促進を図る指導についても、今回と同様に具体的な提案ができればと考えている。